



病院だより 130

住み慣れたご自宅での療養生活を支援いたします ～目くばり、気くばり、心配りで、笑顔と真心をあなたに～

「美祿市訪問看護ステーション」として活動を始めて、13年が経ちました。現在は、保健師2名、看護師3名、作業療法士1名の計6名が美祿市全体を訪問しており、8月からは、言語聴覚士1名を仲間に加え活動しています。

「訪問看護ってどんなことをするの?」と聞かれることがあります。タイトルにあるように、住み慣れたご自宅で、療養生活が、できる限り継続できるよう、看護師が、ご自宅に訪問し、病気や障害に応じた看護など様々な支援を行います。

わたしたちは、いつでも連絡がとれるよう24時間体制で緊急時の対応をしておりますので、安心して御利用ください。

訪問看護の利用例	訪問看護ご利用後の感想
入院をきっかけに医療処置が始まり不安で退院できないという方	先生（医師）と看護師さんが連絡をとり合っているのので、不安なく在宅生活を送ることができるようになった。
糖尿病で通院しているが、コントロールが悪く、入院を繰り返していた方	看護師さんと一緒に生活の見直し等ができ、コントロールが良好になった。
薬の飲み忘れが多く、体調が安定せず入院を繰り返していた方	看護師さんと、薬剤師さんが協力しながら内服方法を工夫してもらえたので、服用がスムーズになり体調が安定した。
医療的ケアが必要な子供の育児に不安を抱えている御家族	看護師さんと、相談しながら一緒に成長発達を見守ることができた。
最期の時を家で過ごしたいと希望される方	主治医の先生と協力しながら支援してもらえるので、家族も納得する形で、見送ることができた。
飲み込む機能が悪くなり、食事が口から食べられなくなり、胃瘻からの注入で過ごされていた方	訪問リハビリにより、口から食べられるようになった。
コロナ禍のため、入院、入所が長くなると家族と会えないから困っている方	先生と相談し、早めの退院後、訪問看護を利用することで、安心して家族と一緒に過ごすことが出来た。

問い合わせ先 美祿市訪問看護ステーション〔☎0837(62)1156〕